

保育計画成果報告書

法人名等	(個人)
施設名	ひまわり子どもの家
報告者(役職)	安田 佳子 (園長)
住所・連絡先	福島県福島市飯坂町平野字天車 29
	☎ 024-558-0485
	E-mail himawari-kodomo@tulip.ocn.ne.jp

○タイトル(保育計画)

はじめてのチャレンジがいっぱいの遊具で元気よく遊ぼう！

○主な助成備品

三輪車・コンパクトリトルランド

1. 保育計画策定の目的

当園は、2018 年小規模保育園保育施設として再スタートしました。それまでは認可外保育園として就学前の子どもたちを 40 名ほど受け入れていました。園庭も室内も広く、3 歳以上の子どもたちがのびのびと遊べる施設になっていて遊具も幼児向けのものが中心でした。小規模保育施設になり 0 歳児～2 歳児の遊びの安全面を考えると、今まで使っていた屋内外の遊具は心配なものが多く、乳幼児に合った遊具を設置・購入しなければならないと思っていました。園庭や広い部屋で保護者の方に安心していただき、低年齢の子どもたちが楽しんで体を動かして遊べるものがよいと考え、1 歳・2 歳向けの三輪車とコンパクトリトルランドを購入させていただき、園の保育方針としている「子どもの試したい気持ちを尊重する」を実現したいと思い保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

○三輪車

(0. 1 歳児用)

毎日の外遊びの遊具の一つとしてすぐ使えるように子どもたちが外に出ると並べて置いた。形がコンパクトなので自分からまたがり乗ることができた。初めは蹴るような形でバックさせながら動かしていたのが、慣れてくるとペダルがないので、歩くように両脚を交互に出して前進させることができるようになってきた。



(2歳児用)

大きく重量感があり、はじめはペダルに力を入れて踏まないと前進しないので保育者の援助が必要だった。動かすコツを覚えるとからだを反らし太ももに力を入れペダルを踏み、前進させることができた。タイヤが大きくできているので、前進させたときの満足感が得られるようだ。



〈配慮したこと〉

- ・ 0, 1歳児用の三輪車は軽いので倒れやすいため、1人の子どもに対して1人の保育者をつけた。
- ・ 前を見ないで前進後退をするので、そばに子どもがいないかを確認しながら遊ばせた。
- ・ 2歳児は、斜面を使っての上り下りの楽しみ方を見つけたのはよいのだが、下るときにバランスを崩して転倒する恐れがあるので補助するようにした。

○コンパクトトルランド

(2歳児用)

- 1、順番を守りながら階段を上る。
- 2、体のバランスをとりながら滑り台を滑る。
- 3、体を小さくし、頭をぶつけないように気をつけながらトンネルくぐりをする。

☆応用として

- 4、周りにマットや低めの台を並べ、マット遊びや箱渡りなどをさせてサーキット遊びへと広げた。



〈配慮したこと〉

- ・ 階段を上り終わると立ち止まったり、押し合いになることもあるので、遊ぶ前に約束をさせてから始めさせ、要所要所に保育者を配置して見守りをした。

3. その成果と評価

○三輪車

(0, 1歳児用)

今まであった三輪車はペダルがついているもので、乗ってはみたものの、ペダルが操作できない1歳児にとっては、両足を蹴って動かすのだが、ペダルが邪魔になっていて思うように扱うことができないように感じていた。今回購入したものは、形がシンプルな

うえペダルがないので両足を自由に動かして乗ることができ、憧れていた上の年齢の子どもたちのように 乗れた！という気持ちを満足させられたと思う。

(2歳児用)

安定感があり倒れにくいので、ペダルを踏むとき体を左右に大きく動かしながら前進させることができた。太ももに力を入れないと前進しないので、大腿四頭筋が鍛えられるという利点も感じられた。

◎特に良かったところとして

外遊びの時間は1歳児と2歳児たちが混合になって遊ぶことが多く、お互いに援助しあう姿が見られるなど思いやりの気持ちも養われていると思う。

○コンパクトリトルランド

(2歳児用)

主に外遊びのできない日に活用させた。今までは平面的な遊びだったのが上る、滑る、くぐり抜ける、がいっぺんに楽しめる空間を使つての遊具を使うことにより、気持ちも高まり室内遊びの楽しさが倍増したようだ。使用後は小さくたたんで収納できるので、室内遊び用具としては最適であると思う。

◎特に良かったところとして

約束を守る、順番を守るという、みんなで遊ぶ時の大切なことも学ぶことができる。



応用としてのサーキット遊び

4. 今後の課題と展望

0, 1, 2 歳児という低年齢の子どもたちの運動遊びは、ややもすると安全面だけを重視し、動きの規制をしがちですが、どの子にも「やってみたい」という好奇心は大いにあるので、その気持ちを満足させるために今回購入させていただいた遊具は大いに役立っています。そして、園の保育理念でもある、『失敗しても立ち直る力』、『人と協力できる力』が養われるのではないかと期待しています。

また、今般のコロナ禍で制限された生活の中、せめて園に来ているときはのびのびと遊ぶことができることで保護者にも安心してもらえるなど、保護者支援の一環にもなるのではないかと考えています。



以上